

# 第7回 ショートハンドチャレンジ 1・2・3 レース 帆走指示書 (Sailing Instructions)

2022年10月20日

- 【開催日】 2022年10月30日(日)  
【開催地】 小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ周辺海域  
【共催】 公益財団法人 日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎  
公益財団法人 日本セーリング連盟 加盟団体 三浦オーシャンセーリングクラブ  
【運営】 第7回 ショートハンドチャレンジ1・2・3実行委員会

本帆走指示書 (Sailing Instructions : SI) の略語表記の意味

[DP] : この規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。RRS 第2章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[NP] : この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a) を変更している。

## 1 規則

- 1.1** 本レースには、『セーリング競技規則 2021-2024 (RRS) 』に定義された規則が適用される。  
レース中 (準備信号～フィニッシュ) は、オートヘルム、オートパイロット、及び電動ウインチの使用を禁止する。
- 1.2** 外洋特別規定 2021-2022 付則 B インショアレース用特別規定および OSR 国内規定。  
参照 URL : [http://jsaf-anzen.jp/pdf/AppB-\[26843\]\\_J\\_201231.pdf](http://jsaf-anzen.jp/pdf/AppB-[26843]_J_201231.pdf)

## 2 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、SI 3「選手とのコミュニケーション」に準じて行う。

## 3 選手とのコミュニケーション (競技者への通告)

- 3.1** レース本部設置場所  
所在地 : 三崎マリン (神奈川県三浦市三崎町小網代 1003 番地 6) 2F  
期間 : 2022年10月30日(日) 07:00 ~ 16:00
- 3.2** オンライン公式掲示板  
公式掲示板(WEB) : <https://yacht-race.jp/123/document.html>
- 3.3** 連絡先  
電話 : 090-2341-3140  
メールアドレス : 2022shc123@misaki-ocean.jp  
公式 WEB サイト : <https://yacht-race.jp/123/>  
その他通信設備 : 国際 VHF72ch を常時ワッチしている。

- 3.4 競技者への通告は、10月30日(日) 07:00~08:00の間、公式掲示板(WEBサイト)にて行う。10月29日(土)以前に行う通告は、外洋三崎ホームページに掲載する。
- 3.5 通告を海上で行う場合は、本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。
- 3.6 参加者とレース委員会間の通信手段は、携帯電話とする。
- 3.7 レース中の艇は、いかなる通信の制限は行わない。但し、RRS41を変更するものではない。

#### 4 陸上で発せられる信号

レース運営に関する信号は陸上のレース本部では発しない。

#### 5 レース日程

10月30日(土) チェックイン : 09:45 まで  
予告信号 : 09:55  
タイム・リミット : 15:00

艇長会議／表彰式は実施しない。

レース予備日は設けない。

#### 6 クラス旗

- 6.1 [DP] [NP] デイビジョンおよび識別リボンは以下とする。

	● デイビジョン	● 識別リボン
①	シングルハンド	: イエロー
②	ダブルハンド	: ピンク
③	トリプルハンド	: グリーン

参加艇は、識別リボンを、艇後部の視認しやすい位置(デッキから1.5m以上の高さ)に掲揚すること。

- 6.2 クラス

各デイビジョンともに、参加艇数によってはクラス分けする場合がある。

クラス分けした場合、クラス毎の識別リボンは設けない

- 6.3 [DP] [NP] リコールナンバー

セールナンバーの無い船、およびJSAF未登録のセールナンバーを使用する艇については、あらかじめ渡されたリコールナンバーをバウパルピット付近の両舷に付けなければならない。

#### 7 レース・エリア

小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ周辺海域とする。

#### 8 コース

- 8.1 レースコース

小網代沖(網代崎灯浮標付近) スタート ⇒ 城ヶ島沖南西沖ブイ(反時計回り) ⇒

小網代沖(網代崎灯浮標付近) フィニッシュ

- 8.2 距離

10 マイル

#### 9 マーク

スタート・マークとフィニッシュ・マークは黄色円筒型ブイである。

## 10 [DP][NP] 海上チェックイン

参加艇は、レース当日の 09:45 までにセイル番号もしくはリコール番号を表示して、L 旗を掲揚した本部船後方から本部船を右に見て通過し、全乗員はデッキに上がり、艇名と乗員数を告げ本部船の確認を受けること。

## 11 スタート

11.1 レースは RRS26 を用いて、全ディビジョン一斉にスタートする。

11.2 スタート・ラインは、スターボードの端となる本部船のオレンジ旗を掲揚したマストもしくはポールとポートの端のスタート・マークのコース側との間とする。

11.3 スタート信号後 30 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』記録される。

## 12 リコール

### 12.1 個別リコール

リコール艇があった場合、RRS・29.1 により音響 1 声とともに X 旗を掲揚する。

X 旗はリコール艇がリコールを解消後、降下する。

但し、スタート信号後 4 分を経過したら、リコール艇がリコールを解消しなくても X 旗を降下する。

レース委員会は、個別のリコール艇名を国際 VHF72ch にて同報する場合がある。(RRS29.1 への追加) これはサービスであり、不手際があったとしても救済の対象にはならない。

### 12.2 ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合、RRS・29.2 により音響 2 声とともに第一代表旗を掲揚する。新しいスタートの予告信号は、第一代表旗降下(音響信号 1 声)の 1 分後に発せられる。

## 13 コースの短縮

13.1 コースの短縮は、南西沖ブイにて行われる。

13.2 運営艇に S 旗を掲揚し、音響信号(2 声)を発して通告する。この場合、レース艇は S 旗を掲揚したマストもしくはポールと南西沖ブイとの間でフィニッシュすること。

13.3 コース短縮の運営艇は、錨泊していない場合がある。

## 14 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、本部船の青色旗を掲揚しているマストもしくはポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

## 15 ペナルティー方式

RRS44.1 を変更し、『2 回転ペナルティ』を『1 回転ペナルティ』に置き換える。

## 16 タイム・リミット

2022 年 10 月 30 日(土) 15:00 とする。

タイム・リミットまでにフィニッシュできなかった艇は審問なしに DNF とする。(RRS35、A4、A5 の変更)

## 17 審問要求

17.1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して通告(赤色旗の掲揚等)すると共にフィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船に告げ、自艇のフィニッシュ後 1 時間以内に所

定の審問要求書をレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。

**17.2** 救済の要求は、所定の審問要求書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後 1 時間以内にレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。

**17.3** 審問は原則、感染予防措置を考慮した場所で開催されるが、リモート会議ツールによる参加を可能とする。

開始の時間、場所、会議 URL については公式掲示板(WEB)に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する場合がある。

## **18 順位**

### **18.1 順位**

SHC123 ハンディキャップを用い、Time-on-Time 方式を適用し順位を決定する。

**18.2** 成績算出における計算式は以下の通りとし、修正時間(CT)の少ない艇を上位とする。

$CT(\text{修正時間}) = ET(\text{所要秒}) \times TMF(\text{SHC123 ハンディキャップ})$

CT(修正時間)が同一の場合は、TMF(SHC123 ハンディキャップ)の小さい艇を上位とする。

## **19 レースの成立**

各クラスともに、1 艇以上のタイム・リミット内フィニッシュをもって、レース成立とする

## **20 レースの中止**

**20.1** 悪天候や感染症拡大防止策などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レースの中止はレース前日の 10月29日(土)18:00 までにレース委員会が決定し、公式掲示板(WEB サイト)に記載する、

**20.2** スタート海面で中止を決定する状況が生じた場合は、本部船に N 旗と A 旗を掲揚し音響 3 声を発する。

## **21 [DP] [NP] 出艇申告、乗員変更、帰着申告**

**21.1** 出艇申告は チェックインすることで完了される。

**21.2** 乗員の変更はレース当日の 08:00 までに書面にてレース本部に持参もしくはメール(写メ等)提出すること。

**21.3** 帰着申告はフィニッシュ することで完了される。

**21.4** 出艇しない艇、フィニッシュしなかった艇は必ず艇の責任者が直接レース本部に速やかに連絡すること。

原則として第三者への伝言委託は認めない。

連絡が無い場合には、レース委員会から海上保安庁に救助要請をすることがある。

## **22 安全規定**

**2.1** 船舶検査に基づいた装備、備品に加え携帯電話を 1 台以上、可能であれば国際 VHF 送受信機を搭載していること。

**22.2** 出艇申告書を提出し、スタートしない艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部に直ちに連絡しなければならない。

**22.3** 海上においてレースが中止になった場合には、帰港後、レース本部に直ちに帰着申告をしなければならない。

#### **22.4 事故報告**

人員の負傷、落水、重大な船体やマストなどの損傷を伴う、衝突、座礁、破損などがあつた場合、抗議救済の要求の有無に関わらず、日時、場所、関係艇、関係者名、事故状況、連絡先などを記載した事故報告書をメールもしくは書面で、当該艇の責任者がレース本部まで提出すること。

**22.5** レース参加申込書に記載された携帯電話に加え、予備を搭載することが望ましい。また、充電機能や防水対策についても考慮されたい。ただし緊急時は連絡手段を問わない。

### **23 インспекション**

事前のインспекションは行わない。フィニッシュ後の適切なきにレース委員長の判断により、フィニッシュした全艇または任意に選択した艇に対して実施されることがある。

### **24 運営船**

本部艇：「アルカンシェルⅢ」（オセアニス 321）、32feet ヨット、船体色：白色  
外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

運営船：プリンセスⅡ（油壺ヨットハーバー）、インフレーター、船体色：グレー、  
外洋三崎クラブ旗を掲揚する。

### **25 [DP]支援者艇**

**25.1** 支援者艇の使用については予めレース委員会に申告し、レース委員会より渡されたホワイトのリボンの標識を付けなければならない。

**25.2** 支援の対象となるレース艇がレース中である間、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

**25.3** 支援者艇はレース中の艇を妨害してはならない。

### **26 [DP]ごみの処分**

競技者は、故意にゴミを水中に投棄してはならない。この規則は、水上にいる間、常に適用される。これは、スピナーカーをまとめる毛糸・ゴムバンドなどを含む。

### **27 賞**

賞を以下の通り与える。

- ・各ディビジョン 1～3 位
- ・各クラス 1～3 位（クラス分けした場合）

共同主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

4 艇以上参加の場合 3 位まで、3 艇参加の場合は 2 位までを表彰とする。

### **28 リスク・ステートメント**

**28.1** RRS3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者・支援者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大、COVID-19 感染などがあ

る。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

**28.2** 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

**28.3** 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡による責任を負わない。

**28.4** 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で、十分な耐候性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。

**28.5** オーナーは、船体、スパー、リギン、セイルおよびその他すべての備品を確実に装備し、安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべての乗組員に熟知させておかなければならない。

**28.6** オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底させる責任がある。

**28.7** レース委員会は、不適当と認めた艇、および艇長・乗員の参加を拒否することができる。

## **29 保険**

各参加艇は、以下の付保範囲を持つ有効な保険に加入していなければならない。

- ・賠償責任保険
- ・搭乗者傷害保険
- ・捜索救助費用保険

## **30 緊急救助体制**

各艇からの情報および気象・海象の状況等から判断して、遭難の恐れがあると考えられる場合には、レース本部（実行委員会）は、当該艇の緊急連絡先に連絡・協議の上、海上保安庁に捜索の要請を行うことがある。

緊急時における海上保安庁関係機関の連絡先

海上事故の緊急通報 電話：118番（局番なし）

第三管区海上保安本部 電話：045-211-1118

## **31 問い合わせ**

問い合わせ、質問はEメールのみで対応する。

- ・艇名、質問者氏名、日付を明記し、出来るだけ箇条書きにて問い合わせること。
- ・質問内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

宛先：第7回 SHC123 実行委員会

メールアドレス：2022shc123@misaki-ocean.jp

以上